

子どもたちの未来と被ばくを考える会 ニュースレターNo.6

発行日 2016年3月1日 事務所:和歌山市三番丁6番地 関西電ビル4F 金原法律事務所内

<http://kodomomiraikibou2012.seesaa.net/> 連絡先・事務局:TEL:073-451-5960(松浦)

1月17日、ビッグ愛にて、高木学校
医学博士の崎山比早子さんをお招き
し『身近な放射線と健康被害について』
講演会を行ないました。

当日は約60名の参加があり、質疑応
答も活発に行なわれました。講演内容
の一部をご紹介します。

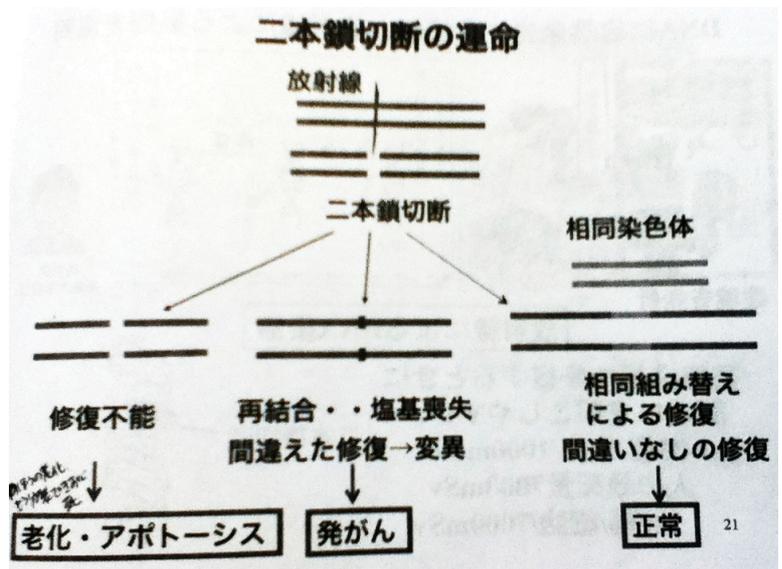


● 私たちに身近な「被ばく」

身近な問題として、「職業被ばく」と「医療被ばく」がある。「職業被ばく」には線量限度が決められており、1年間で50mSv、5年間で100mSvを超えてはいけない。一方、「医療被ばく」は、必要な検査や治療を受けられるように線量限度が決められていない。日本は、人口あたりのCT装置台数、X線検査回数がダントツ世界一位。CTやレントゲン検査による利益もあるが、発ガンリスクも上昇することを理解し、無用な被ばくを避ける必要がある。

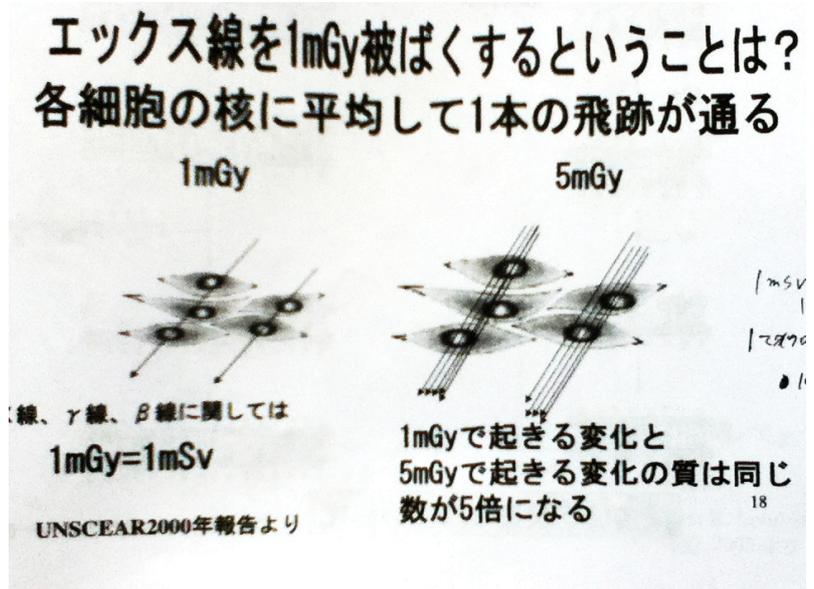
● 放射線のリスクとは？

人体は、約60兆個の細胞からできている。細胞の中には、身体的设计図ともいべきDNAがある。DNAの損傷と修復は日々繰り返されており、たとえ傷ついても元どおり修復されれば



健康被害はない。しかし、放射線によって DNA が傷つけられた場合、正常に修復されるとは限らない。2重らせん構造の DNA が 2 本とも切断されると、うまく修復できずに細胞が死んでしまったり、修復ミスで変異を起こすことがある。そして細胞の変異は、発ガンに結びつく可能性がある。

放射線による傷の数は、浴びた線量に比例して増加する。例えば、X線を 1mSv 被ばくするのと 5mSv 被ばくするのでは、1mSv で起きる変化と 5mSv で起きる変化の質は同じで、数が 5 倍になる。

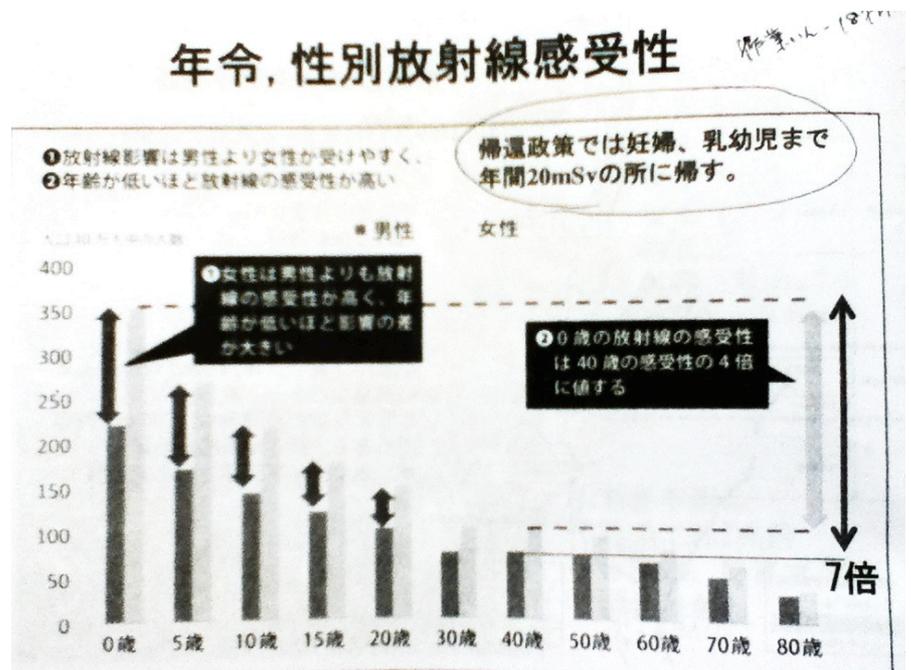


●子どもの被ばくが危険な理由

UNSCEAR (国連科学委員会) 2010 年報告によると、「放射線に対する感受性は、年齢によって異なり、一般に若いほど感受性は高い。特に胎児の感受性は高く、10mSv 以上でリスクが上昇する」とある。

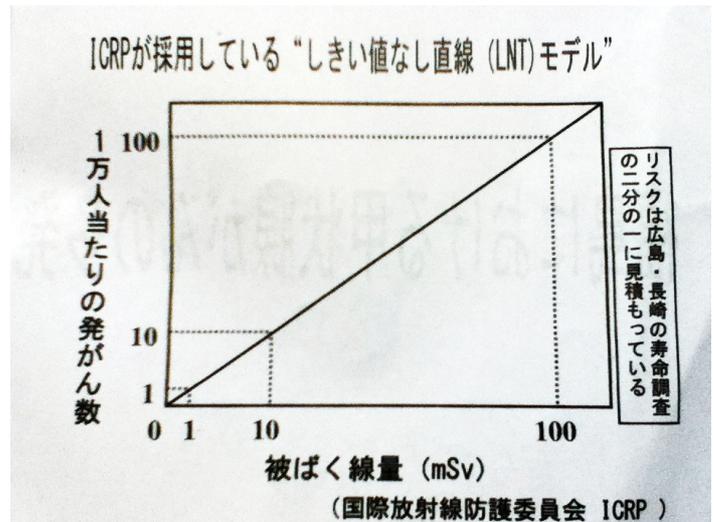
子どもは大人に比べて細胞分裂が盛んなため放射線に対する感受性が高く (0 歳の放射線の感受性は 40 歳の約 4 倍)、

その後の人生が長いので放射線の影響が蓄積され、発ガンする可能性が高い。



●放射線の安全値は？

放射線の被ばくに安全値はなく「わずかな被ばくでもリスクがある」というのが世界の常識である。ICRP（国際放射線防護委員会）では、「放射線リスクにしきい値なし」が採用されている。その上で、社会的コストの関係から「合理的に達成できる限り低く」定める値として、公衆に対する線量限度を1mSv／年としている。



●放射線リスクの過小評価と帰還政策

放射線リスクを考えると、事故後もなお危険な状態にある福島第一原発からはできるだけ住民を遠ざけておくことが政府のなすべきことだ。しかし、事故後に発表された低量放射線被ばくリスク評価では、

- 1、100mSv の被ばくで 0.5% のがん死率上昇、証明困難
 - 2、がん以外の疾患は認められない。
 - 3、放射線よりそれを心配する精神的ストレスの方が有害
- とし、「科学的証明がないので安全」としている。政府は、核エネルギー利用促進のために原発・放射線のリスクを意図的に過小評価している。

現在、政府は、限度線量を 20mSv／年に引き上げ、妊婦、乳幼児を含む住民を福島に戻すための帰還政策を積極的に行なっている。

● 福島における甲状腺がんの最新状況

2011～2015年の間、福島県の18歳以下の子どもたち28万人を調査

悪性ないし悪性の疑い…153名（うち1人は良性） （2015年11月30日公表）

国立がんセンターの統計では、0歳から19才の甲状腺がんは、多くて年間3人/100万人。
事故後、福島における甲状腺がんは、年間約100人/100万人。

● 未来に希望をつなぐために

核の被害は、ひとたび起きると生業を根こそぎ奪ってしまう。しかもその持続時間は、人の寿命をはるかに超える。

私たちは、科学的根拠に基づいて個人個人が判断力をつける必要がある。民主的で原発のない社会を築くのは最終的には個人の力。



東京電力福島第一原発事故より早5年。私たちは放射線の被害から身を守るため、子どもたちの未来を守るため、引き続き地道に活動を続けていきたいと思えます。今後とも、どうぞ「子どもたちの未来と被ばくを考える会」の活動へのご協力をよろしくお願いいたします。